

個人質問

議会事務局 処理欄	令和3年10月29日13時00分 受付
	質問順位 第7番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 久野 勇

一般質問の通告について

令和3年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. カーボンニュートラルについて</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>近年、国内外では猛暑や豪雨等、地球の温暖化が原因とみられる異常気象により、今まで経験したことのないような自然災害等が増加してきています。</p> <p>2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、産業革命以前に比べて平均気温の上昇を1.5℃に抑えるためには「2050年までに、CO2の排出量を実質ゼロとすることが必要」と言われています。</p> <p>2020年10月には気候危機ともいえる状況や国内外の動きをうけ、国は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、成長戦略の柱に経済と環境の好循環を掲げ、グリーン社会の実現に向けて最大限に注力することを掲げました。</p> <p>本町では今年2月2日に、将来にわたって健康で安心して暮らすことができる環境を次世代へ引き継いでいくため、住民・地域・企業・行政が一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ、挑戦することを表明いたしました。</p> <p>このことは、3月15日の広報たけとよで、町民・町内事業者・団体のみなさんに、目標の実現に向けたより一層のご理解、ご協力をお願いしています。</p> <p>なお、「ゼロカーボンシティ宣言」は、今年10月29日時点で、40都道府県、287市、12特別区、116町、24村が表明しており、今後も自治体レベルで脱炭素社会に向けた取組はさらに加速すると思われます。</p> <p>また、脱炭素社会に向けた挑戦は、世界各国に広がりを見せており、世界規模で取り組む重要な課題だと認識をしています。</p> <p>加えまして、本町では令和4年度予算編成方針の中で、大項目「環境にやさしいまち」として、2050カーボンニュートラルを目指し、地球温暖化対策実行計画に基づく取組を進めることが示されました。</p> <p>そこで、現在策定中である「地球温暖化対策実行計画」についてお伺いしたく、以下質問をいたします。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 実施計画のスケジュールを含めた全体像はどの様に考えているのか。</li> <li>② ゼロカーボンシティの実現に向けて、特に影響力のある実施事項はどの様な事が考えられるのか。</li> <li>③ ゼロカーボンシティ宣言をしたことで、国からの支援はどのようになるのか。</li> <li>④ 町民・事業所・行政が今すぐにでも出来ることはあると思うが、取り組んでいくことはないのか。</li> <li>⑤ 「カーボンニュートラルとは何か。」「ゼロカーボンシティとは何か。」を定期的に、発信することで関係者への理解を深めて頂く取り組みが必要と思うがどうか。</li> <li>⑥ 2050年までにCO2の排出量をゼロにする目標だが、全体計画に対する進捗率・達成率はどの様に算出し、フォローしていかれるのか。</li> </ol>